

### Ⅲ. 図書教材の系・分野別使用状況

～職系の違いにより図書教材の使用状況はどう異なるか～

これまで都道府県立訓練科や事業団立訓練科といった訓練科区分により図書教材の使用状況を報告してきたが、一般に、図書教材の使用状況は実技を重視する訓練科と学科を重視する訓練科とで使用冊数も図書構成も異なる。また、認定教科書や市販図書の選択肢如何によっても異なる。そこで、教材情報資料No.1「職業訓練図書教材の一覧」で行った20系64分野の訓練科分類をもとにして、図書教材の系別使用状況を調べてみた。本節では、その結果を報告する。

なお、訓練科の系・分野の分類を表3-1に示すが、これは、養成訓練及び能開訓練における準則訓練の教科編成上の類似性と、調査票における訓練科名及び使用市販図書からイメージされる訓練内容などにもとづいたものである。これは、調査票回答訓練科の名称が673種におよび、さらにB型訓練がかなり普及している点が見られ、職種、訓練目標、訓練内容等での厳密な分類が困難であることによる。このため、本誌では、細密さに欠ける分野別の集計は省略することとした。

表3-1 訓練科の系・分野の分類と訓練実施状況

(1) 系分類と訓練実施状況									(2) 分野分類と訓練実施状況								
No	名 称	延べ科	養成訓練			能開訓練			No	名 称	延べ科	養成訓練			能開訓練		
			A型	B型	計	A型	B型	計				A型	B型	計	A型	B型	計
1	機 械 系	187	113	12	125	11	51	62	1-1	機械加工	156	101	11	112	8	36	44
									1-2	金型加工	9	6	0	6	2	1	3
									1-3	金属彫刻	5	2	1	3	1	1	2
									1-4	機械保全	17	4	0	4	0	13	13
2	金 属 系	224	96	13	109	61	54	115	2-1	金属加工	215	92	13	105	60	50	110
									2-2	金属工芸	5	1	0	1	0	4	4
									2-3	鍛造・鋳造	4	3	0	3	1	0	1
3	運 輸 系	186	129	3	132	30	24	54	3-1	車両整備	163	118	3	121	21	21	42
									3-2	建設機械	13	7	0	7	4	2	6
									3-3	車両運転	7	1	0	1	5	1	6
									3-4	農業機械整備	2	2	0	2	0	0	0
									3-5	航空機整備	1	1	0	1	0	0	0
4	電 気 系	240	128	13	141	39	60	99	4-1	電気工事	115	56	2	58	27	30	57
									4-2	電気機器	32	21	1	22	3	7	10
									4-3	電子機器	75	49	6	55	9	11	20
									4-4	メカトロニクス	18	2	4	6	0	12	12
5	情 報 系	51	28	11	39	0	12	12	5-1	情報処理	31	15	6	21	0	10	10
									5-2	マイコン	17	11	4	15	0	2	2
									5-3	無線通信	3	2	1	3	0	0	0
6	建 築 系	188	126	1	127	55	6	61	6-1	建 築	130	91	1	92	33	5	38
									6-2	ブロック建築	16	7	0	7	8	1	9
									6-3	左 官	41	27	0	27	14	0	14
									6-4	と び	1	1	0	1	0	0	0
7	建 設 系	30	14	1	15	2	13	15	7-1	建 設	14	1	0	1	2	11	13
									7-2	土 木	16	13	1	14	0	2	2
8	住 宅 内 外 装 系	91	23	4	27	14	50	64	8-1	インテリア	30	7	2	9	2	19	21
									8-2	家屋営繕	47	6	1	7	9	31	40
									8-3	畳	2	2	0	2	0	0	0
									8-4	タイル・ガラス	12	8	1	9	3	0	3
9	設 備 系	114	34	4	38	31	45	76	9-1	建設設備	58	19	2	21	22	15	37
									9-2	冷凍空調	11	8	1	9	1	1	2
									9-3	建築設備	22	7	1	8	4	10	14
									9-4	ビル管理	23	0	0	0	4	19	23

(1) 系分類と訓練実施状況									(2) 分野分類と訓練実施状況								
No	名 称	延べ科	養成訓練			能開訓練			No	名 称	延べ科	養成訓練			能開訓練		
			A型	B型	計	A型	B型	計				A型	B型	計	A型	B型	計
10	木 工 系	66	37	3	40	22	4	26	10-1	木工工芸	64	36	3	39	21	4	25
									10-2	竹工芸	2	1	0	1	1	0	1
11	塗 装 系	101	50	4	54	23	24	47	11-1	塗 装	74	40	1	41	19	14	33
									11-2	デザイン	27	10	3	13	4	10	14
12	印 刷 系	48	29	6	35	6	7	13	12-1	印刷・製本	48	29	6	35	6	7	13
13	事 務 系	160	37	23	60	53	47	100	13-1	事 務	147	36	21	57	50	40	90
									13-2	タイプ	13	1	2	3	3	7	10
14	ビジネス系	66	8	6	14	10	42	52	14-1	情 報	51	6	4	10	5	36	41
									14-2	販 売	10	0	2	2	2	6	8
									14-3	観 光	4	2	0	2	2	0	2
									14-4	不動産	1	0	0	0	1	0	1
15	製 図 系	92	48	5	53	25	14	39	15-1	機械製図	36	25	2	27	6	3	9
									15-2	建築製図	24	21	0	21	3	0	3
									15-3	トレース	32	2	3	5	16	11	27
16	服 飾 系	99	52	11	63	27	9	36	16-1	洋 裁	85	41	11	52	25	8	33
									16-2	和 裁	7	6	0	6	1	0	1
									16-3	織 物	5	3	0	3	1	1	2
									16-4	染 色	2	2	0	2	0	0	0
17	家 政 系	25	2	1	3	13	9	22	17-1	家 事	1	0	0	0	1	0	1
									17-2	調 理	11	2	0	2	6	3	9
									17-3	介 護	13	0	1	1	6	6	12
18	理美容系	21	17	0	17	4	0	4	18-1	理容・美容	21	17	0	17	4	0	4
19	造 園 系	21	5	1	6	14	1	15	19-1	造園芸	21	5	1	6	14	1	15
20	そ の 他	24	16	4	20	4	0	4	20-1	臨床検査	1	1	0	1	0	0	0
									20-2	環境分析	3	2	0	2	1	0	1
									20-3	皮革製品	4	2	1	3	1	0	1
									20-4	陶磁器	4	2	0	2	2	0	2
									20-5	時計修理	1	1	0	1	0	0	0
									20-6	光学機器	1	1	0	1	0	0	0
									20-7	印章彫刻	3	2	1	3	0	0	0
									20-8	義肢・装具	7	5	2	7	0	0	0
	(総数)	2034	992	126	1118	444	472	916			992	126	1118	444	472	916	

# 1. 系別の訓練実施状況

表1-2で示したように、全調査票における養成訓練と能開訓練の実施比率は、養成訓練が55.0%、能開訓練が45.0%である。これを系別に示すと図3-1のようになる。なお、集計の詳細は巻末資料5を参照されたい。

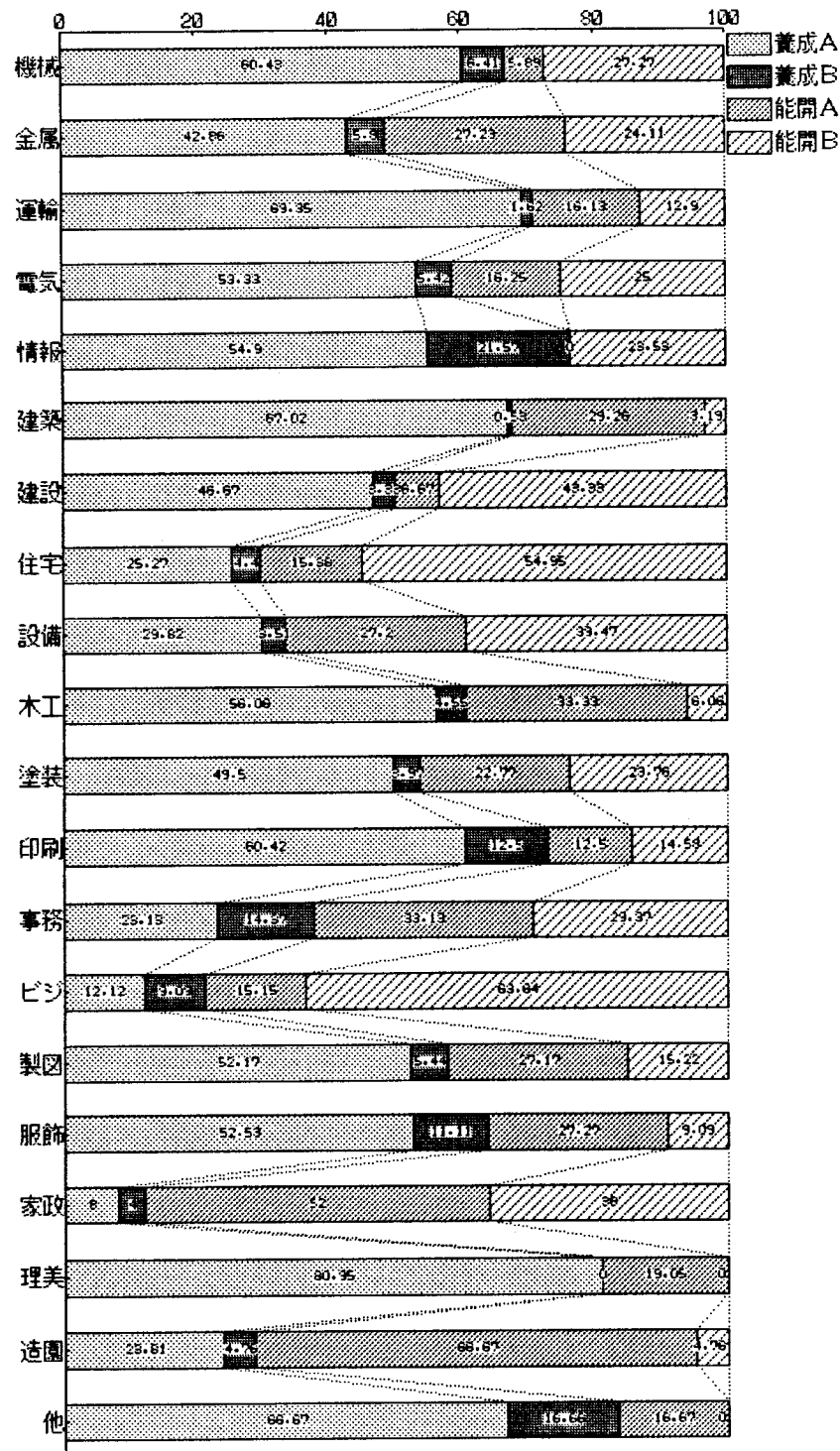


図3-1 系別の訓練実施状況

これによると、

a. 能開訓練、養成訓練ともにA型訓練の実施比率が高い系

建築系、木工系、製図系、理美容系、造園系

b. 養成訓練でA型訓練が多く、能開訓練でB型訓練が多い系

機械系、金属系、運輸系、電気系、建設系、住宅内外装系、  
設備系、塗装系、印刷系

c. 養成訓練、能開訓練ともにB型訓練が多い系

情報系、事務系、ビジネス系、服飾系、家政系

となり、a. の建築系、木工系、製図系は、B型転科にともない住宅内外装系や情報系などの系に吸収される傾向にあり、このため、準則訓練中心の訓練科で系が構成されたとみられる。b. は系本来の技能・知識を重視する訓練系が多く含まれているが、技術変化の著しい分野でもある。c. はOA化への対応あるいは女子向け訓練の再編整備といった共通点が特徴としてあげられる。

## 2. 系別の図書教材使用冊数

図書教材の1訓練科当たりの使用冊数（平均使用冊数）を系別にみると図3-2のようになる。なお、集計の詳細は巻末資料6を参照されたい。

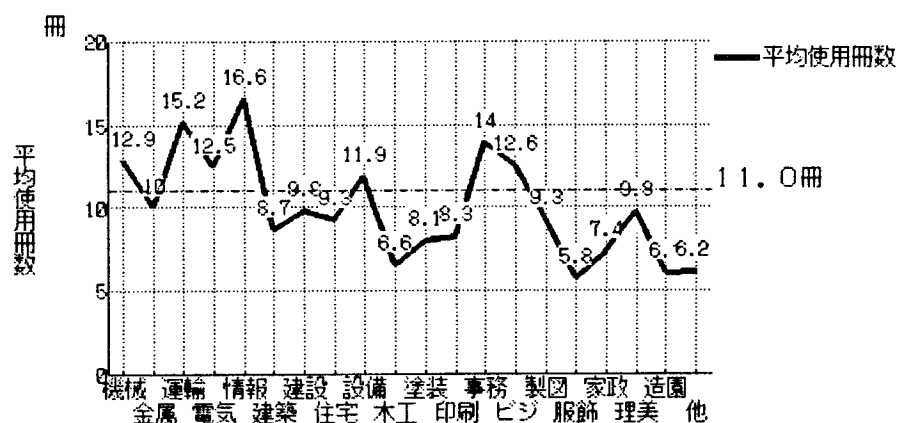


図3-2 系別の図書教材使用冊数

図3-2によると、情報系の16.6冊から服飾系の5.8冊まで、図書教材の使用冊数は系間でのばらつきが目立つ。傾向としては、資格試験準拠の運輸系を例外として、情報系、事務系、機械系、電気系など技術変化の著しい系で使用冊数が多い。それぞれにコンピュー

タ処理、OA処理、資格取得といった共通項があり、これが使用冊数を引き上げているようである。一方、服飾系、造園系、木工系、家政系、塗装系などで使用冊数が少ない。これらは、女子向け訓練、中高年齢者向け訓練が多く、費用負担の軽減により使用冊数が抑えられているようである。

### 3. 系別の図書教材構成

使用している図書教材について、認定教科書、市販図書及び自作図書の構成内容を見ると図3-3ようになる。

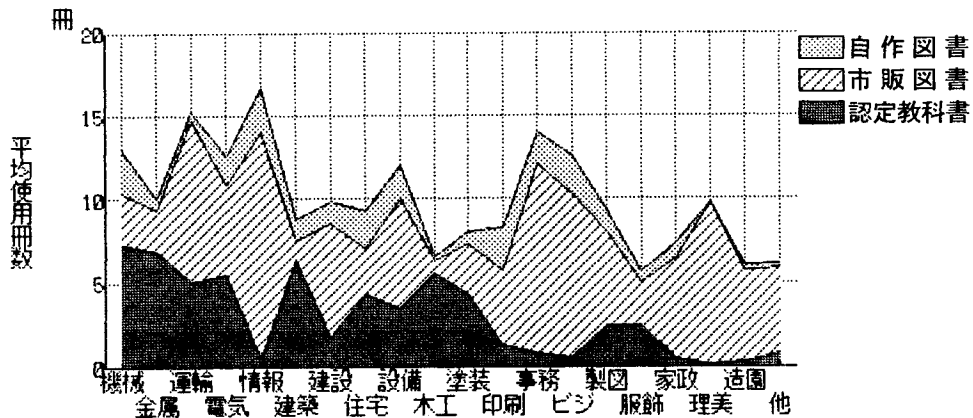


図3-3 系別の図書教材構成

これをみると、歴然としているのが認定教科書と市販図書が相反した使用状況にあることである。

まず、認定教科書は、機械系、金属系、建築系、木工系、電気系などで使用が目立ち、認定教科書の整備が使用状況に反映している。このせいか、市販図書の使用が抑制され、図書教材の使用冊数は平均化の傾向を示している。認定教科書の定着性の良さをうかがわせる結果である。

一方、市販図書を多く使用している系は事務系、ビジネス系、情報系、運輸系であるが、これらは前述の系に比べて使用冊数のばらつきが大きい。市販図書の選択肢の大小が使用冊数を左右しており、使用状況の不安定さが目立つ。

自作図書は、機械系、情報系、印刷系、住宅内外装系、ビジネス系が他系を上回っているが、いずれの系も1または少数の訓練科にその利用が集中している。

## 4. 系別の図書教材購入費

全調査票における図書教材の平均購入費を図3-4～図3-7に示す。なお、集計結果の詳細は巻末資料7を参照のこと。

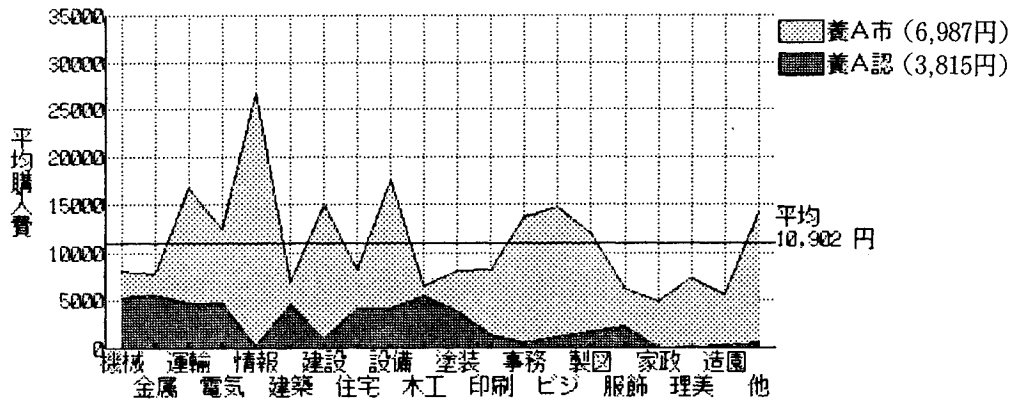


図3-4 系別の図書教材購入費／養成訓練A型

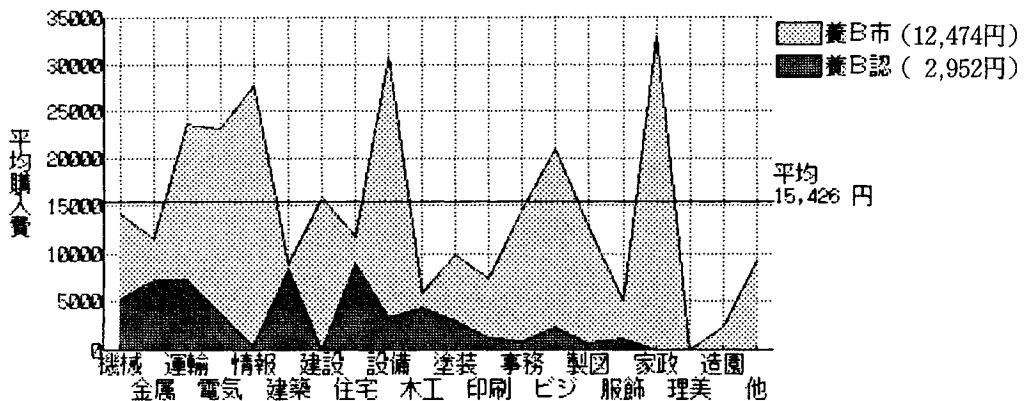


図3-5 系別の図書教材購入費／養成訓練B型

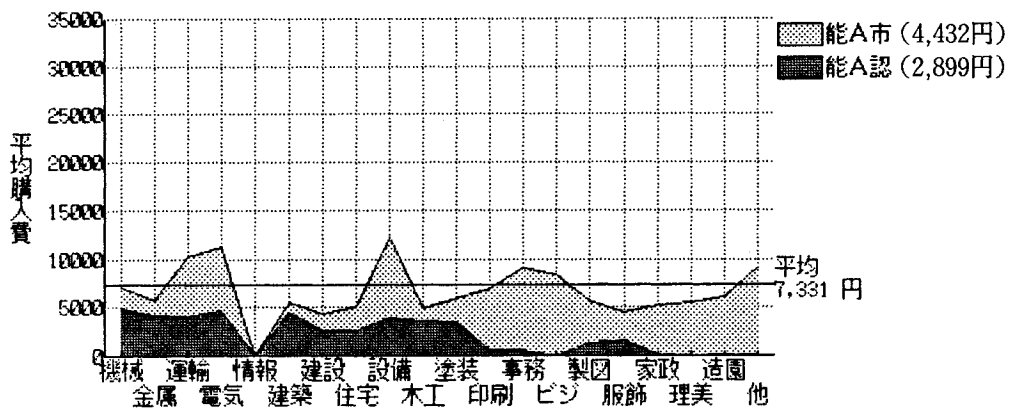


図3-6 系別の図書教材購入費／能開訓練A型

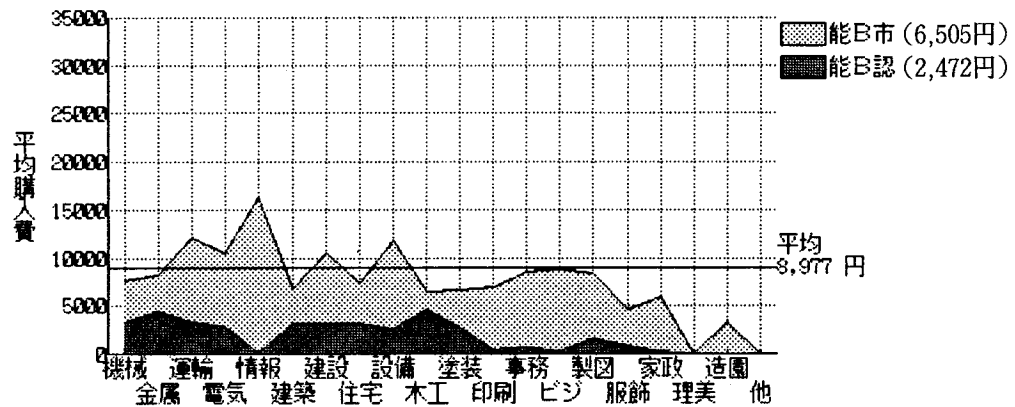


図3-7 系列の図書教材購入費/能開訓練B型

以下、系列の平均購入費の概況を述べる。

- a. 認定教科書の平均購入費が高い系は、市販図書の平均購入費が軽減されている。これは、4つのグラフすべてに共通している。
- b. 図書購入費の変動が大きいのが養成訓練で、特に、養成訓練B型における系間のばらつきは著しい。
- c. 養成訓練で図書購入費が特に多い系として、
  - A型訓練：情報系、設備系、運輸系、建設系
  - B型訓練：家政系、設備系、情報系、運輸系、電気系
 があげられ、いずれも平均使用冊数の多い系である。
- d. 能開訓練では、養成訓練ほどのばらつきはみられないが、
  - 設備系、情報系、運輸系、電気系
 で、AB型訓練いずれにおいても他系の平均を上回っている。しかし、市販図書をよく使用しているとみられる系でも、
  - 事務系、ビジネス系、服飾系、家政系、理美容系、造園系
 では、平均購入費は平均を下回っている。